



2016・9・1

第248号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 充実した全国交流討論集會に、力合わせて

### 全国集會成功へ第2回実行委

9月25日に開かれる九条の会第6回全国交流討論集會に向けた第2回実行委員会が8月29日に開かれました。

會議ではまず渡辺治事務局員が参院選後の憲法をめぐる情勢をめぐって、安部首相の暴走とそれがもっている矛盾について問題提起。これをめぐって参加した各地域・分野の会の代表はそれにどう立ち向かおうとしているかについて、それぞれの取り組みを出し合いました。

続いて小森陽一事務局長が、重大な任務をもって開かれる全国集會を成功させるための取り組みを訴え、分散会ではどのようなテーマについて討論するかのポイントを提示。参加者はそのポイントについて活発に議論しました。

なお、全国集會の参加申し込み状況はまだ余裕があることが報告されました。

### 敗戦の日に思いを新たに

【浜松市／浜松・憲法九条の会】 敗戦の日の8月15日、「浜松・憲法九条の会」と「戦争させない・9条壊すな！浜松総がかり行動」が戦争法廃止、改憲反対を訴え

### 全国交流討論集會 実施要綱

- ①名称 九条の会第6回全国交流討論集會
- ②開催日 9月25日(日) 午前11時～午後4時
- ③会場 明治大学駿河台校舎 リバティ―・タワー他
- ④次第  
全体會議／呼び掛け人あいさつ、世話人(仮称)の紹介とあいさつ、事務局からの問題提起  
<休憩・昼食>  
分散会(5～6)・解散
- ⑤参加申込 各地域・分野の九条の会の代表(事前登録制) 締め切り9月16日
- ⑥参加分担金 1人1000円

る集會とパレードを行いました。

100人が参加し、「憲法改悪絶対反対」「安倍政権の暴走止めよう」「野党は共闘を」などと元気よく訴え、JR浜松駅から繁華街をアピールしました。立ち止まって見入る人、若い男性が手を振って応援するなど市民が注目しました。

集會で塩沢忠和弁護士は「『戦争法はおか

しい』という多くの声があり、9条改憲反対の声も多数です。敗戦の日に平和の誓いを新たにして、戦争法廃止への声をあげていきましょう」と訴えました。

森田恭一郎牧師は「1人の人の命も失ってはいけない。日本は憲法9条の立場に立って平和外交を続けることで国際貢献をするべきです」と強調しました。浜松ママの会のメンバーは「平和憲法を引き継いでいこう」と呼びかけました。「私たちはあきらめない！」「憲法改悪許さない！」のコールや弾き語りも行われました。

娘と一緒に元気よくコールしていた母親(42)は「安倍政権の暴走を絶対に止めたい。原爆まで使用される悲惨な戦争を日本は経験したはずです。私たちの大事な税金を増税してまで軍事費にまわされていくことも本当に許せません」と話していました。

これに先立ち、九条の会は木村草太・首都大学東京教授を迎えた講演会を行い、350人が参加しました。

## 「何かやらにゃあ伝わらん」と

【長野県下諏訪町】下諏訪町で戦争法廃止のアピール行動が8月23日夕、12人の参加で行われました。「何かやらにゃあ、伝わらんでな」と、「アベ政治を許さない」のプラスターを掲げて集まりました。

諏訪大社に向かう交差点は、スタンディングの30分間に600台を超える通行量があります。乗っている子どもも含めてみんなで手を振って通る車もありました。

参加した小口昌三さん(79)は「自民党の憲法改正草案をみると、個人の尊厳が壊されそうで怖い」と語ります。「SNSでス

タンディングは知っていたけど、参加は初めて」という実家に帰省中の男性も参加。小松秀夫さんは「9条の会としても運動をもっと盛り上げなくては」と語ります。

行動を呼びかけたのは藪内秀敏さん(66)、幸子さん(67)夫妻。幸子さんは「国会で議論が始まって、絶対に9条を変えさせない。そのためにも、世論を広げたい」と。秀敏さんは「戦争法の強行採決から1年となる9月19日は、いつもの何倍もの人数で決意を示したい」と語りました。

アピール行動は昨年6月から。最初は「下諏訪さんぽ」の形式でしたが、途中からサイレントスタンディングになりました。

9月からは「9条守ろう！下諏訪行動」と名称も変更します。3日、9日、19日、29日の月4回に変更します。

## 9条をベートーベンに乗せて

【群馬県／諸宗教者の集い】「群馬諸宗教者の集い」が呼びかけで、高崎市で21日、「非戦 非核 非原発 非改憲」を掲げた7回目の宗教者平和行進が行われ、宗教者や市民ら約50人が参加しました。

出発前の集会で、主催者あいさつに立った小野文瑠代表(宗教者九条の和の世話人・日蓮宗)は、改憲や原発輸出をすすめる安倍政権を批判し「今、平和勢力とそれを押しつぶそうとしている政権が対峙(たいじ)している。私たち宗教者は、あきらめずに一步一步進もう」と呼びかけました。

参加した宗教者らがリレートーク。参院選野統一候補として奮闘した天台宗僧侶の堀越啓仁さんは「命を尊ぶ崇高な教えを説く宗教者が、先頭に立って平和を求める声

をあげることが必要だ」と訴えました。

参加者は、市役所前を出発してJR高崎駅西口や市街地を行進。ギターを弾きながら日本国憲法第9条をベートーベンの交響曲第9番に乗せて歌い、うちわ太鼓を打ち鳴らしながら読経し、ピースサインを掲げるなどしてアピールしました。

日本に来て27年になるクリスチャンの深沢ローデスさん(48)＝前橋市＝は家族と参加。「どこに住んでいても平和を訴える取り組みは大事。みんなと平和を築きたい」と話しました。

## 文化団体や個人に訴えフェスタ

【愛知県岩倉市／岩倉9条の会】 岩倉市で21日、岩倉9条の会が文化団体や個人によびかけ「ピース9 夏のフェスタ」を開き、80人が集まりました。今年で10回目。

午前中の「憲法落語」(出演・八法亭みやっこ)のDVD鑑賞に続き、「平和への思いを詩と音楽でつないで」をテーマに多彩な面々が舞台上に上がりました。笛や太鼓、コーラスにフォークソング、ギター演奏、詩の朗読などを参加者は楽しみました。

注目を集めたのはシンガー・ソングライターの五島良子さん。5曲を熱唱。ラストは出演のきっかけとなったある集会で歌った「君知りたもうことなかれ」。原発、秘密保護法など知らないで済むのかと訴えるオリジナル曲を切々と歌い上げました。

五島さんが出演すると聞いて参加した桑原映子さん(68)は、「歌は初めて聞きましたが、自分の思いを正直に歌っていて心に届きました。息子も連れてくるんだっ

と話しました。

壁の展示には会の「十年の歩み」が紹介されています。一回目から参加してきた山田薫さん(76)は「平和憲法のもとで教育も受けてきましたが、(憲法を)わかっているわけでない。会に参加して学びました」と感慨深げです。

会事務局長の宮島洋さんは「今回演奏してもらった『岩倉ギター友の会』は初参加。会場には知らない顔の人もいて、広がりを感じます。戦争法をなくすため、いっそう活動を広げていきたい」と話しました。

会は、戦争法強行採決1年となる9月19日午後3時、名鉄岩倉駅西ロータリーで宣伝する予定です。

## 広範な人びとの協力で戦争展

【福島市飯野町／飯野町九条の会】 福島市飯野町で8月28日までの3日間、商店街の旧呉服店店舗を借り切り、飯野町九条の会は平和のための戦争展が開きました。保守を含め幅広い人たちが資料提供に協力するなど、住民が気軽に来場。そのなかで今春から夏にかけて町の約35%署名した戦争法廃止を求める署名の取り組みが改めて話題になっています。

戦争展は飯野町九条の会は2006年にスタート。東日本大震災・原発事故があった翌年から3年間は開けず、14年に再開し今年で8回目です。

再開の年は原発、去年は沖縄、今年は戦争と憲法問題の特集的に扱っています。今回はさらに、遺族らが戦死者の遺書や戦中の産業報国会の旗などを提供しました。

展示場の中央部にあるのが戦争法廃止を

求める署名の取り組みを紹介したコーナー。署名した人は人口 5395 人の同町で 34・9% の 1872 人に上りました。福島県内では人口の 4 割を超した柳津町に続きます。

今年 3 月に多彩な人たちが呼びかけ人になり、統一署名飯野の会を結成。呼びかけ人には、福島市と合併する前の町議会議長や副議長、元町農業委員会会長、遺族会幹部、5 つの寺のうち住職 4 氏など町内各団体の重鎮を含む 107 人が名前を連ねました。

自民党員で傷痍軍人の会幹部も務めていた人の息子が「子どものころ、父親の体で嫌なことを言われた。戦争は絶対反対だ」と署名。ある 70 代の男性が「これは大事だ」と約 60 人に署名してもらいました。住職らも積極的に訴えました。

統一署名飯野の会事務局の安齋孝雄さん(66)は「署名を 1 割もやれば成功と言えるが、3 分の 1 以上というのはすごいこと。安倍暴走政治に対する大きな批判の声です」と話しています。

## 13 年続く 9 の日宣伝

### 【静岡市／静岡市憲法 9 条の会連絡会】

静岡市憲法 9 条の会連絡会は 9 日、憲法 9 条を守り、戦争法廃止を求める署名宣伝を静岡市葵区で行いました。厳しい暑さのなか 5 団体 12 人が呼びかけると「戦争は絶対ダメ。頑張って」と励ます姿がありました。

同連絡会は葵区と駿河区の憲法 9 条の会 21 団体で構成し、13 年前から毎月 9 日の宣伝を続けています。

合戸政治すえひろ 9 条の会代表らが「安倍首相は『戦争する国』づくりを狙っています。今求められているのは憲法を変える

ことでなく、憲法を守り、いかすこと」と訴えました。

署名した女性(68)は「9 条があるから日本は戦争をしないでこられた。平和憲法を若い人たちにどうしても引き継ぎたい」。藤枝市の女性(76)は「安倍首相は選挙で改憲について語らず反共攻撃ばかり繰り返した。野党共闘を盛り上げていくために、私たち一人ひとりがもっと学んで声をあげないといけませんね」と署名しました。

## 4 年ぶりに活動を再開して

【松山市桑原校区／守ろう憲法 9 条！桑原の会】松山市桑原校区の住民などでつくる「守ろう憲法 9 条！桑原の会」はこのほど、総会を開き、戦争法廃止、憲法改悪阻止のための運動を強めるなどの活動方針を決めました。

村田武代表委員は「9 条は決して押しつけられたものではなく、日本側から提案し、日本国民が獲得したものです。自分たちがつくり、守ってきた 9 条をこれからも守り続け、安保法制廃止のために頑張ろう」とあいさつしました。

富長泰行事務局長は、この 1 年間の活動の成果として、4 年ぶりに活動を再開し、戦争法廃止の 2000 万署名は 2203 人分に到達したことなどを報告。運動を強め、▽隔月で学習会を開催▽会報の毎月発行▽毎月 19 日の街頭アピールなどを提案しました。

3 \* P E A C E えひめ代表の村中恵さんが講演し、「人々が気づかないうちに戦争に進んでしまわないように 9 条が必要。安保法制を廃止するまで活動を続けます」と話しました。